

| 取組テーマ          | 取組目標                             | 具体的な活動内容 |   | 担当者            | 活動主体      | 取り組んだこと、その実績   | 1年を振り返って  |
|----------------|----------------------------------|----------|---|----------------|-----------|--|---|
| 省エネルギーの推進      | 日常の学校生活の中で省エネルギー活動を実践します。        | 1        | 表示、ポスター、校内放送を利用し節電、節水、資源循環等の呼びかけを行う。          | 環境美化委員会担当      | 児童<br>教職員 | ・戸締りの時に電気の消し忘れなどが見られた時には、その都度、職員打ち合わせ等で呼びかけ情報を共有し意識向上に努めた。<br>・エアコンの適正使用については、換気をしながら実施した。<br>・長期休業中はタブレット及び保管庫の電源を切って無駄な電力を使わないように心掛けた。   | 【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった<br>【理由】<br>電気やエアコンの消し忘れも少なく、日々の省エネに関する意識は、高まっているため。<br>【今後の課題】<br>節水に関する意識がより向上するよう継続して取り組んでいく必要がある。<br>【次年度への引継ぎ事項】<br>児童会活動と連動させ、ポスターや表示を作成し、節電・節水を呼び掛け児童、職員の意識向上を図りたい。               |
|                |                                  | 2        | 電気の消し忘れ、エアコンの適正使用を点検する。                       | 全教職員           | 教職員       |  |   |
|                |                                  | 3        | 長期休業中はコンセントを抜いたり、主電源を落としたりして無駄な電力を使わないよう心掛ける。 | 全教職員           | 教職員       |  |   |
| 資源・4R・廃棄物削減の取組 | ごみの分別・リサイクル活動を推進し、ごみの量を減らします。    | 1        | 図画工作科・生活科等で廃材を利用し工作をする。                       | 各担任・教科担当       | 児童        | ・各学級、教室内でごみの分別ができるようゴミ箱の工夫がみられる。また、印刷室では、裏紙使用を推奨し、紙の再利用の促進をした。<br>・紙の料金が高くなっていることもあり、ミスプリントをしないよう職員全体で確認した。  | 【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった<br>【理由】<br>裏紙使用については、常習化できているため。<br>ミスプリントを含め、紙の使用を極力抑えようと努力していたため。<br>【今後の課題】<br>紙の使用をさらに減らすために、教職員用のタブレットを有効的に使用していきたい。<br>【次年度への引継ぎ事項】<br>事務職員と共有し、紙の購入の前年度比などを示し、引き続き意識向上に努める。      |
|                |                                  | 2        | 印刷・コピーのミスを防ぐため工夫(表示や呼びかけなど)をはかる。              | 教頭・事務職         | 教職員       |  |   |
|                |                                  | 3        | ゴミ箱に表示するなどごみの分別を図る。                           | 各担任・教科担当       | 児童        |  |   |
| 生きもの・みどり       | 動植物の育成等を通して、児童の自然を大切に育てる態度を育てます。 | 1        | 烏骨鶏の飼育を通し。命を大切にする態度を育てる。                      | 飼育委員会担当        | 児童        | ・栽培から収穫までの活動を実施した。(1年生:朝顔・さつまいも・ビオラ 2年生:ミニトマト・ラディッシュ・大根・夏野菜・パンジー 支援級:夏野菜)<br>・飼育委員会の児童中心に、烏骨鶏を大切に育てていたが、年度初めに死んでしまった。委員会の仕事として、校内の木々に樹木名の提示や、メダカの世話に取り組んだ。<br>・卒業式に合わせて、お祝いの気持ちを込めて、花壇を花々で彩っていた。 | 【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった<br>【理由】<br>低学年を中心に花や野菜作りに触れる機会が多かったため。<br>花壇がいつもきれいに整備されているため。<br>【今後の課題】<br>烏骨鶏が死に、動物を育てる機会がなくなった。飼育委員会をなくし緑化委員会を立ち上げる予定になっている。成果や課題を整理する次年度としたい。<br>【次年度への引継ぎ事項】<br>緑化委員会の充実を図っていきたい。 |
|                |                                  | 2        | 一人一鉢栽培の実施<br>1年:朝顔 ヒヤシンス パンジー<br>2年:ミニトマト     | 1年各担任<br>2年各担任 | 児童        |  |   |
|                |                                  | 3        | 学校花壇の充実を図る                                    | 教職員・PTA        | 児童<br>PTA |  |   |

●写真等の記録:活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記入ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。

●学校長(推進責任者)によるコメント

【学校長名】

平木 恵美

【今後の方向性について】

今年度の取り組みの振り返りを活かし、本校の課題を改善できるよう継続して取り組み、環境教育をより一層推進する。

・次年度以降も米づくりに代わる地域との関わりを模索していきたい。

・特別活動と連携した児童が主体となった活動の実施

・ミスプリント削減の徹底や会議でのタブレットの有効利用などを継続して職員の意識改革を推進する。